

ノイズキャンセリングヘッドホン(1万円未満)

EDIFIER W820NB Plus

¥OPEN



1万円を切る価格でLDACに対応

日本でも頭角を現した「EDIFIER」は、長年蓄積してきた技術に基づく確かな音質、先進性が話題です。本製品は、Bluetooth接続の音声コーデックとしてLDACに対応し、「Hi-Res Wireless」ロゴも掲示。有線接続も含め真正正銘の「ハイレゾ」対応ヘッドホンでANC(アクティブノイズキャンセリング)機能も搭載。それでいて10,000円を切る価格設定は大変魅力的です。お手頃価格ながら、外観や装着感も上質で、毎日触れるアイテムとしてもお薦めできるもの。ハイレゾ対応のヘッドホンをコストパフォーマンスで選ぶなら、本機で決まりです。(鴻池賢三)

ノイズキャンセリングヘッドホン(1万円以上3万円未満)

EDIFIER WH950NB

¥OPEN



繊細な音を奏でるチタンコート振動板

LDAC対応、ANC機能を搭載したワイヤレスヘッドホンのハイグレードモデルです。40mm径チタンコーティング複合振動板はレスポンスが速く、音の輪郭を繊細に描き出します。LDAC対応スマホと組み合わせれば、ハイレゾ対応ストリーミングの印象は一変します。ANCはフィードフォワード+フィードバックのハイブリッド型。「ディープノイズリダクション」「防風ノイズ」などの4つの動作モードを備え、シーンに合わせて切り替えられます。プロテインレザーを採用するなど質感も上々、フラットに折り畳めるなど使い勝手にも優れた逸品です。(海上 忍)

Bluetoothスピーカー(2万円以上3.5万円未満)

EDIFIER QD35

¥OPEN



目でも楽しめるライトスピーカー

LDAC対応かつ強力なアンプとドライバーの活躍でシンプルに音のよいBluetoothスピーカーですが、それにとどまらない魅力を備えています。一目で印象に残るのは、透明なフロントパネルとその内側を照らすライティング。しかもそのライティングの色と明るさを、アプリからだけではなく、本体のノブからもサッと変更できます。「就寝しながら音楽を聴くときには優しい光り方に」といった使いわけも簡単です。機能面ではUSB Type-CとAの端子に注目。特にUSB Type-Cは最大35Wの給電性能を備え、スマホ等の充電に活躍してくれることでしょう。(高橋 敦)

アクティブスピーカー(デスクトップ/5万円未満)

EDIFIER MR4

¥OPEN



正統派な音づくりで使いやすさも魅力

音楽制作などの環境に向けた「モニタースピーカー」というタイプのスピーカーですから、音に温かみや迫力を足すことはなく、そのままの音で素直に鳴らしてくれます。そして、そのニュートラルな音づくりは一般ユーザーが音楽鑑賞などに使う場合にも活躍。どんなジャンルも苦手にしないので、幅広い音楽や動画を楽しむ方には特におすすめです。加えて制作者向けでありながら、電源スイッチを兼ねるボリュームノブを前面に配置してあるなど、一般的な使いやすさも備えています。正統派な音づくりで使いやすさも十分な小型スピーカーが1万7,980円前後の価格。これはお買い得です。(高橋 敦)

